

平成22年度 栗ガ丘小学校 グランドデザイン

【学校長の願い(学校経営ビジョン)】
校歌及びブロンズ像「のびゆく」に託された願い
「生きる力」を具現する学校づくり
豊かな人間関係の育成
ふるさと小布施の文化を軸にした「ふるさと学習」の充実
家庭及び地域と連携した「共育・協育・響育」が機能する学校づくりの推進

【学校教育目標】 基本目標「たくましい体と豊かな心を持ち、自ら学び伸びてゆく子ども」
具体目標 めあてを持って考え、粘り強く学ぶ子ども 互いに支えあう思いやりのある子ども
郷土を愛し、自然に親しみ、美しさに感動する子ども 心身を鍛え、仕事に打ち込む子ども

【学校自己評価から】
地域や保護者の願い・期待
* 「歴史と文化と自然、花、観光」と関わった教育活動
* 食育の充実・英語活動の充実 * 安全、安心な学校
学校評議員の声
* 大きくなってから小布施を語れる子にするために、郷土を知る活動をしてほしい。
* 子どもの教育に地域も協力できるようにしたい。

【本年度の重点目標】
【つたえあい】 伝え合おう 考えを
【ひびきあい】 自分からしよう あいさつを
【みがきあい】 だまってやろう 清掃を

1 本校の伝統、人的・物的教育環境
本校で大事にされてきた伝統、特色ある活動
幼保小中連携交流教育
PTAと関係諸団体と連携した人権同和教育
地域と連携した花壇・菊(巴錦)栽培
児童会活動の特色
アルミ缶回収による福祉施設への寄付活動
縦割り班による栗ガ丘祭の実施
くりん子学級・学年(兄妹学級・学年)による縦の連携活動
校舎・環境整備の工夫
オープンガーデンの設置
・学校花壇・山野草園

【学びをつくる子ども】(5年次)
【全校研究テーマ】(「学びをつくる子ども」の定義)
対象(もの、こと、ひと)と関わる中で、自ら思いや願い、問いをもつ子ども
願い・問いの実現・解決に向けて、自分の考えもち、友とやりとりする子ども
対象との新たな関わり(活動・考え)をみつけ、関わりを深めていく子ども

【あいさつをつくる子ども】
誰にでも進んであいさつができる子ども
あいさつをすることで、響き合う人間関係をつくっていく子ども

【清掃をつくる子ども】
自分の学校の汚れに気づき、無言で清掃に汗する子ども
友の清掃の姿に気づき、協力できる子ども
きれいになった場所に気づき、成就感を持ち、次への意欲を持てる子ども



2 教科・領域・総合的な学習の時間「のびゆく」のねらいと具現のための方策

【研究の重点】
必要感をもったやりとりがうまれる単元構想・授業構想のあり方
「やりとりの質」の向上を図るための構想・支援のあり方
～ 聞く力、考えを説明する表現力、考えの相違や同意についての思考力・判断力を培う支援のあり方～

教科	ねらい
国語	国語に対する関心を持ち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書しようとしていく子ども 自分が伝えたいことを整理し、相手や目的に応じて書いたり話したりできる子ども
社会	社会的事象を多面的にとらえ、人々の営みに共感したり、自らのあり方を考えていく子ども 自ら問題意識を持ち、友と関わりながら調べ、考え、表現し、問題解決をしていく子ども
算数	課題について見通しを持ち、筋道を立てて考え、表現するとともに、算数的活動の楽しさや新たな数理を体得するよさに気づいていく子ども
理科	自然事象と関わる中で、問いを持ち、素朴な見方・考え方を科学的な見方・考え方に高めていく子ども 見通しを持って観察・実験などを行い、問題解決していく子ども
生活	身近な社会や自然、対象に関心を持ち、自ら願いを持って働きかけたり、問題意識を持って継続的に調べたり、考えたり、表現したりできる子ども 友だちと支え合いながら楽しく活動し、友だちや自分のよさに気づくことができる子ども
音楽	楽曲と出会い、自分なりの表現目標を持ち、友と共に表現を深めていく中で、自分の思いや考えをもとに、音楽要素と関連づけながら表現を工夫していく子ども 音楽の美しさを感じ取り、様々な音楽に親しみ、自分の表現に生かしていく子ども
図工	願いや見通しを持ちながら、生き生きと喜んで制作に取り組める子ども 表現や鑑賞の活動を通して、友と関わりながら自分の美意識を広げていける子ども
体育	運動への関心や自ら運動する意欲を持ち、仲間と仲良く運動したり、運動の楽しさや喜びを味わえるよう自ら工夫したりする子ども 健康や安全について理解し、自らの生活行動や身近な生活環境における課題を改善することができる子ども たくましく生きるための体力を身につけることができる子ども
家庭	家庭生活に関心を持ち、実践的、体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的な知識と技能を身につけ、家族の一員として生活をよりよくしようとする子ども
外国語活動	外国語を使って、友達と積極的にコミュニケーションを図ることができる子ども

総合的な学習の時間「のびゆく」のねらい
人やもののかかわりの中で、自分の願いや課題を持ち、友の考えや学習、経験を生かしながら、問題を解決していくとともに、自分のことを振り返ることができる子ども
【つける力(評価の観点)】
課題設定力
総合的な思考力・判断力
活動の技能・表現力
自己評価力
主体的・創造的な態度
【内容】
ふるさと小布施ウォークラリー(3年)
小布施丸なす(4年)
地域農業とフィールドサーバー(5年)
巴錦栽培(6年)
パソコン活用
各学年学級の興味関心に応じた活動

特別支援教育のねらい
めあてや見通しをもって、主体的に友や活動に関わり、生きる力の基盤となるその子なりの自己選択、自己決定し、満足感や成就感をもっていく子ども

人権同和教育のねらい
あらゆる差別をなくすために、被差別者の立場に立ち、差別されている者の悲しみがわかり、差別をなくすために立ち向かっていく子ども
「考えよう 言っていないこと 悪いこと」
バカ、死ね、うざい、きもいを追放しよう!
* 春、秋のなかよし旬間・月間の設置
* 人権同和教育授業参観、懇談会の実施

道徳のねらい
思いやりの心を大切にしたい、友と励まし合って、ねばり強く自己の生き方を追究する子ども
* 自己の行為を振り返ることができる
* どのような行為をすることがよいか判断することができる
* 共によりよく生きていこうとする意欲を持つことができる

特別活動のねらい
学級や学校生活の身近な問題を、みんなで話し合って解決することができ、集団生活の望ましい体験や活動を進んで実践できる子ども
学校生活を楽しく豊かにするために、集団の一員としての役割を自覚して、協力し合って活動する中で、自己を高めていくことができる子ども
集団生活や各行事、クラブ、児童会活動を通して、互いに認め合い助け合いながら、共に活動することの喜びを感じ取ることができる子ども

【具現のための方策(組織から)】
研究テーマ実証に向けた授業改善・授業公開
* 研究授業の実施
研究推進会・重点研究会(算数・授業改善<国語>・外国語活動)・個人研究公開授業
目標に準拠した評価を生かした通知票の検討
教育課程係、各学年
少人数学習の充実 教育課程係、各学年
6力年を見通したカリキュラム、授業改善策の検討、修正
教育課程係、各学年・学級、CRT検査
学年、学級経営案の作成・それに基づく学級、学年経営
・ふり返り 生活指導係、各学年・学級、
QU検査、楽しい学校生活調べ

【具現のための方策(授業から)】
日々の授業改善におけるポイント
学習問題の板書
学習課題(追究の見通し)の把握を意識した授業展開の工夫
友とやりとりする場の構想
学習のふり返りの場の設定
重点研究教科から
算数部会...
授業改善部会(国語で授業公開)..
外国語活動部会...

5 地域や保護者との連携と教育活動の情報公開
年間6回の授業参観日
家庭訪問・保護者懇談会の全学級実施
春の授業参観における各クラスでの教育課程・学級経営方針説明
総合的な学習の時間「のびゆく」の発表機会の確保
地域講師の依頼(菊栽培、各クラブ活動等)
年度末における「学習のあゆみ」刊行・配付
学校自己評価アンケートの実施、結果・考察の「学習のあゆみ」への掲載
ホームページ、学校・学年・学級だより、PTA新聞等での学習活動の様子を伝える工夫
地域と連携した学校安全
* 年3回の集団登校、学年集団下校
* 職員のパトロール
* 防犯、交通安全教室
* くりん子パトロール隊
* 小布施見守り隊

6 日課表の工夫
朝の活動の時間と朝の会の十分な時間の確保
週4日 6校時終了時のドリル時間の設定
週2日 朝の全校読書の設定
2校時終了後の子ども達との「ふれあいタイム」の設定

7 職員研修の充実
個人研究課題に基づいた授業公開により授業力向上を図る。
一人一人の子どもを尊重し、共感的な態度・愛情・信頼を基にした生徒指導・学級経営・専科経営を行う。
自らの感性を磨き、仲間意識や人権感覚を高め合い、安心感を育み、一人一人が命いっぱい輝ける学級づくりを行う。

3 「あいさつをつくる子ども」 具現のための方策
児童会活動でのあいさつ運動
* あいさつ当番 * あいさつ週間、月間(あいさつカード)
* くりん子学級・学年、縦割り班による活動

児童会と生活指導係で連携した活動
* あいさつのよさを確かめ合える全校集会
* 内面に迫る指導 名前を呼んで、顔を見てするあいさつ等
各学年、学級毎の方策の決め出し
* 学年経営案への記載 * あいさつに関わる学年集会
* 各学年、学級の活動のよさを全校に広げていく

職員当番による朝のあいさつ
地域と連携したあいさつ運動
* 登下校でのあいさつ(町別子ども会、交通安全)
* 家庭でのあいさつ(学年・学級PTA)
あいさつに関わる道徳・学級活動の充実
* あいさつに関する授業の実施。
児童理解係によるあいさつの評価



4 「清掃をつくる子ども」 具現のための方策
無言清掃の徹底
* 自ら気づき、友の姿を確認し、協力する姿へ。
めあてを持ち、ふり返りを行う。
* 清掃の始めの音楽と同時に無言になり、低学年は教室に集合、高学年は個々に分担場所へ移動する。5分間の音楽の内に清掃場所へ行き、清掃を始める。めあては事前に決めておく。
* 終了5分前の音楽を3分間流す。終了時に、班毎に反省会を行う。
* 反省会の持ち方、反省の観点の検討。自己評価カード。
各学年毎の方策の決め出し
* 学年経営案への記載 * 清掃に関わる学年集会
* 職員間の意識統一、情報交換 清掃の支度、一緒に清掃
* 学年内で掃除の仕方を確認、統一
清掃場所2週間以上固定
* その場所は、私たちが責任を持ってきれいにするんだという、責任を持たせる。
* よりよいやり方に気づいたり、手順を自分たちで考えたりする。
くりん子学年(学級)清掃等の実施
* 各学期に1回、計3回行う。毎回班員は交代する。期間は2週間～3週間。
* 異年齢の友の清掃への取り組みから、自分の清掃をふり返る。
* 上の学年の子は、指示のあり方等を、下の学年の子は清掃のやり方等をお互いに学び、実践していく。
* よさを確かめ合う学年・全校集会の実施

